

夢工房池田山保育所 白紙へ

社会福祉法人夢工房の池田山の土地について、夢工房の理事会は売却の方針を決定しました。伝え聞くところによると、「保育所をつくっても地元へ貢献できない」という意見が大勢を占めたためだそうです。工事を請け負う建設会社がない、といった理由だけではありません。

昨年10月の夢工房による第1回保育所開設説明会で、私たち多くの住民は夢工房側の説明に大きな不審を抱き、その後、池田山の中心部に大規模保育所をつくることの正当性を、夢工房と品川区役所に対して問うてきました。執行部による専断で立地適性を見極めず土地を購入し、地域住民の声を無視して保育所建設計画を押し進めていましたが、その法人内部から社会福祉活動として大義があるかとの真っ当な意見が出たわけです。

説明会における黒石誠専務理事(当時)の発言

土地は区に紹介されたものではありません。内部留保金の9億円をこの土地に寝かすのはいかがなものか、という責任に対して……ここだけ、なぜ、土地を買ったのかというのは、それはもう、たまたまということですね。

普通は、どこの市区町村も中学校区ごとに待機児童の数というのをピシッとつかんどるんですね。で、今回、それが無いと言われたのは、生まれて初めてなんです。なかったら、この地区で子どもたちが入りたいていうのはどう行政が判断しているんですかって質問したところ、いただいたのは、入園申込状況。まともだった、書いたものは何もいただいていないんです。

このようにきわめて根拠薄弱なところから、池田山保育所は計画されていました。それが今見直されることになったのは当然と言えば当然ですが、早くから夢工房も品川区役所担当課もこの問題に真摯に向き合っていれば、より早期に解決できたはずだと私たちは考えます。

待機児童と待機老人の解消のために

☆東五反田保育園の拡充の可能性を追求

私たちは待機児童解消などの社会福祉政策について決して反対していません。問題はそれが適切に運営されるよう、官民を超えて協議し問題解決を図る場が設けられなかったことです。私たちの調査部会では以前より、5丁目内の公立東五反田保育園を拡充すれば、五反田地区の待機児童問題は解消できると気づいていました。区の担当課に陳情しますと、公園法があるからなどと言いつつ、実際隣接する五反田公園には以前、土地の一時使用で児童施設が設けられていました。現在の園舎改修に絡めて増築し、待機児童の中心である0～2歳の乳児の保育室を確保することは容易ですし、十数億円もかけて新設するより、国や都の財政の観点から言っても、はるかに健全です。

さらに品川区に対しては、この池田山ではより深刻な高齢者福祉問題を解決するため、デイケアセンターなどの開設を併せて要望してまいりたいと思います。

*常時最近の動きをホームページで紹介しております。お読みいただけましたら有り難いです。

池田山住環境協議会 現会員数 600名 (正会員 363名、賛助会員 237名)

事務局：東京都品川区東五反田5-25-19 tel (03)3445-1004

<http://www.ikedayama-council.com>